

学校評価を児童の豊かな学びと育ちへ

令和8年3月23日
京都市立吉祥院小学校
校長 森 美知子



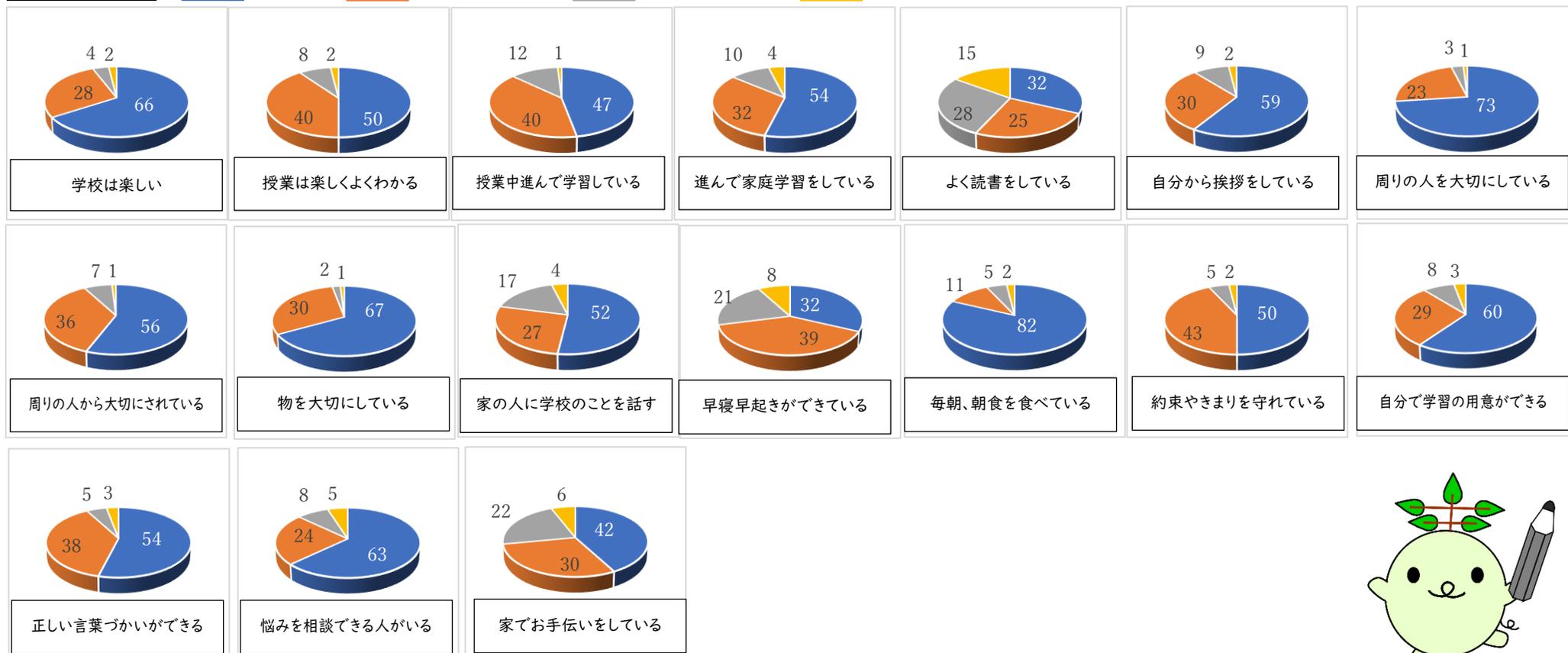
学校
教育目標

自ら学び、未来を創る子どもの育成
～つけよう 伸ばそう にこにこ力～



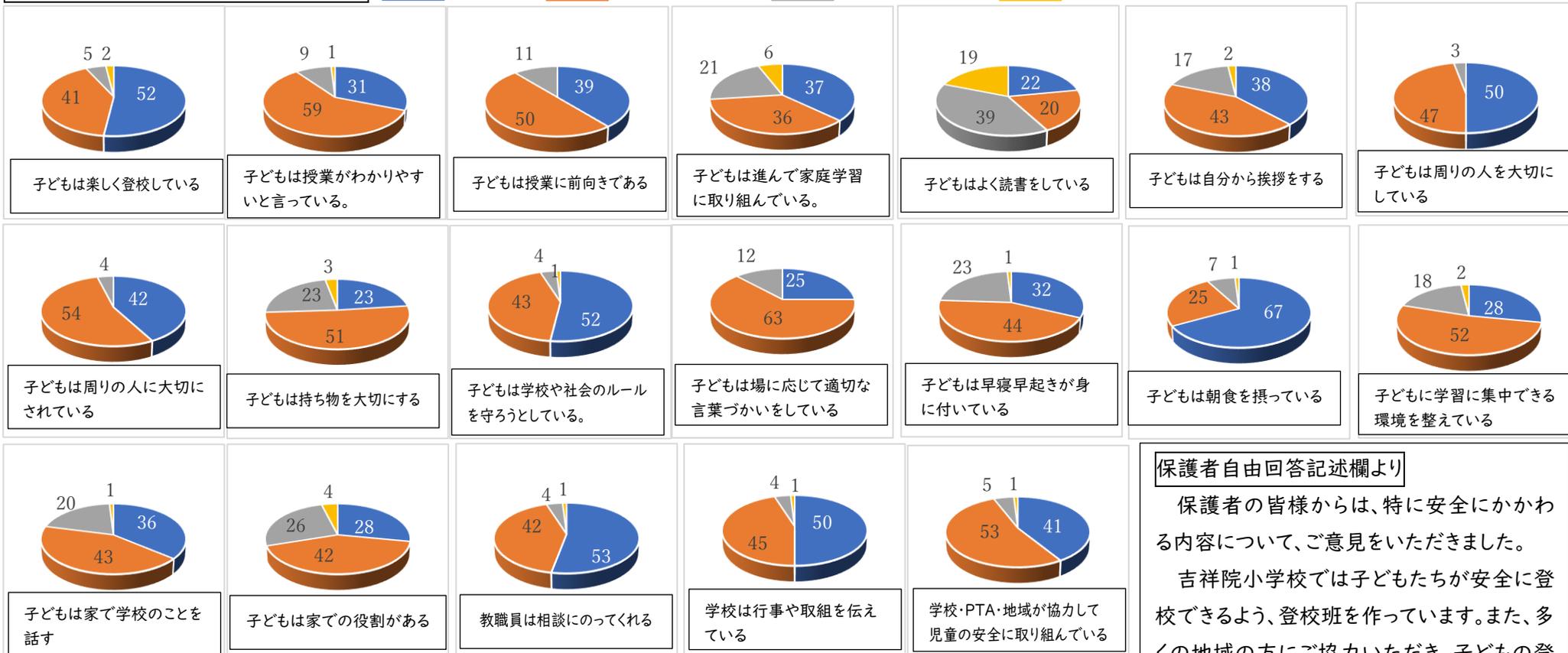
平素は、本校教育推進にご支援とご協力をいただきありがとうございます。1月に実施しました、「学校評価アンケート」にご協力をいただきありがとうございました。集計の結果をお知らせします。学校評価は、学校家庭が相互に高め合い、よりよい学校づくりを目的として行っています。吉祥院小学校では、学校教育目標の達成のために、「自ら行動する力」「他者と協働する力」「未来に向かう力」の3つを【目指す子ども像】として位置づけました。子どもたちには、目指す子ども像をもとに、11の【にこにこ力】を示し、その育成をめざして教育活動に取り組んでいます。児童・保護者へのアンケート結果をまとめましたのでご報告いたします。

児童の回答結果 ■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない 【百分率(%)で表示】



保護者の回答結果（回答率 41.2%）

■ そう思う
 ■ だいたいそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ そう思わない
 【百分率（%）で表示】



- ・周りの人を大切に、また、大切にされていると感じている児童が前期に続き9割を超えており、学校を居心地の良い場と感じている児童が多いことがわかります。「にこにこ力」の中で、【学年の人と仲良くするために、気持ちのよいかかわり方を考え、行動する】ことや、【お互いの良さを見つけたり、違いを分かろうとしたりする】ことについて、意識できるよう年間取り組みをしてきました。これからも、子どもたちがお互いのことを大切に、居心地の良い学校となるように取組をしていきたいと思っています。
- ・8割以上の子どもたちが、授業中進んで学習し、授業は楽しくよくわかる、進んで家庭学習をしていると回答しています。学習に向かう意欲の高さが継続できていることがわかります。学習の習慣を身につけ、「今の自分にどのような学習が必要か」「そのために、どのように学習を進めるか」を自分で考えていくことは、VUCA（ブーカ）と呼ばれる先行きが不透明で、将来の予測が困難な中を生きていく子どもたちにとって、「自律的に」「自らの学びを調整していく」ことは、将来の自分の力を磨くためのとても大切な力となります。吉祥院小学校では自主学習の取組も進めていますので、子どもたちが将来にわたって学びを続けていく力を身に付けていけるよう、指導と支援を続けていきたいと思っています。